

Q 執行部と議会の信頼関係を損なうような事態は避けるべき

A 今後は適時適切に報告していく



浅野富男議員

の活性化の中核施設としての最重要プロジェクトであり、鋭意推進を図っていきたい。

問 工事請負金額の基となるものは何だったのか。

建設課長 県で定める積算基準に基づいて工事費の積み上げを行い直接工事費を算出する。同様に県で定める諸経費を加算した金額で算定している。

問 落札業者による安全祈願祭の後に、すぐ着工とならなかったのはなぜか。

建設課長 国道4号の拡幅工事や国の駐車場整備工事、主要地方道浪江国見線の拡幅工事、町道新設工事が施工中で、進入路の確保ができず、その工事が終了後に着工した。

問 契約締結後に変更が行われた。元の設計業者による変更が筋と考えるが、今回はどうだったか。

建設課長 第三者監理と理業者にお願ひするところが、時間的にもコスト的にも合理的であると判断した。

問 建築確認申請を新たに行うことは、最初の設計とは別の建物ということになるのではないか。競争入札にかけて請負金額を決めるべきではないのか。

建設課長 規定されている発注者の解除権、受注者の解除権、いずれの条項にも該当しないため、契約の解除とはならず、新たに入札を行う必要はない。

問 当初の計画どおりに進めれば何の問題も発生せず、全国にも誇れる道の駅ができたものと思う。法的には問題がないのかもしいが、町と議会の信頼関係を損なうことにもつながる。行政がやることとしては、あまりにも大きな疑問が残るのではないのか。

町長 入札の実施や設計者の変更など、行政手続きとして法的に公正に実施してきた。説明が遅れたが、今後は適時適切に行っていく。

概要については3回町民説明会も行っており、変更はあったが施設の規模や機能など基本的なところは何も変わっていない。今後は、ソフト面で6次化も含めどう進めていくか、議会や町民とも十分に連携を図りながらの対応が大切な課題だと強く認識している。

問

町民の大きな期待のもとで道の駅建設工事が進められている。建物の工事に関して疑問の声もあるが、工事請負契約はそもそもどのようなことで交わすものなのか。

町長 記載事項については、国で示

された統一様式を使用している。記載されるのは、工事名、工事場所、工期、請負代金額、契約保証金および特約事項である。特約事項では、議会の議決を要する契約の場合は、仮契約として議決後に本契約となると記載する。道の駅整備は、復興のシンボルとして、町

された統一様式を使用している。記載されるのは、工事名、工事場所、工期、請負代金額、契約保証金および特約事項である。特約事項では、議会の議決を要する契約の場合は、仮契約として議決後に本契約となると記載する。道の駅整備は、復興のシンボルとして、町

された統一様式を使用している。記載されるのは、工事名、工事場所、工期、請負代金額、契約保証金および特約事項である。特約事項では、議会の議決を要する契約の場合は、仮契約として議決後に本契約となると記載する。道の駅整備は、復興のシンボルとして、町

された統一様式を使用している。記載されるのは、工事名、工事場所、工期、請負代金額、契約保証金および特約事項である。特約事項では、議会の議決を要する契約の場合は、仮契約として議決後に本契約となると記載する。道の駅整備は、復興のシンボルとして、町



道の駅オープン案内は国道4号からもよく見える

Q 有害鳥獣問題解決のため 協議会を設立すべきでは

A 関係機関・団体とのネットワークを つくり対応していく

問 全国的に有害鳥獣(クマ)の目撃情報が多発しているが増加要因はどこにあるのか。

放棄地の増加③狩猟者の減少による捕獲圧の低下④原子力発電所事故に伴い、鳥獣生息域での捕獲ができない地域があること、以上が複合的に関係し、深刻化の要因となっている。

問 今後も人里を餌場と認識させないために町民として取るべき行動はあるか。

中間管理機構への仲介制度もある。1反歩あたり県5万円、町3万円という補助制度も実施している。中山間地域等の直接支払制度などもあるので、それら制度も活用して地域の方々の理解と協力を得ながら解消に努めたい。

問 高齢化による捕獲隊不足や各地区における柵設置の労働力不足、併せて子供たちの安心安全のために、対策協議会を設立して解決すべきではないか。

を含め、安全安心を担保することが重要な課題である。耕作者や県、警察、消防や学校関係など、町全体で協議ができるネットワークをどう作るかが非常に重要なポイントだと思う。なるべく早い機会に設置できるよう対応したい。

産業振興課 長 ①温暖化による鳥獣の生息分布域の拡大②農村の高齢化などによる耕作

①温暖化による鳥獣の生息分布域の拡大②農村の高齢化などによる耕作

産業振興課 長 ①鳥獣の生態を理解すること②鳥獣の生息地には複数行動や音の出るものを持参すること③耕作放棄地の解消や餌となる物を放置しないこと④狩猟免許を積極的に取得し、個体数を減らして共生できる環境を生み出すこと、

問 有害鳥獣問題は全町民の問題と考え、特に危険なクマの情報は、今後も全地区に出すべきではないか。

町長 作物への被害対策をベースに、いかに町民全体の問題にレベルアップできるかが大切。子どもたち

を、安全安心を担保することが重要な課題である。耕作者や県、警察、消防や学校関係など、町全体で協議ができるネットワークをどう作るかが非常に重要なポイントだと思う。なるべく早い機会に設置できるよう対応したい。



渡辺勝弘議員

などが必要と考える。安心安全の確保のために、町民一人一人が共通の課題として認識し、対応してほしい。

産業振興課 長 防災無線での広報は、緊急的な対応をお願いするのが主たる目的で

子どもたち

を、安全安心を担保することが重要な課題である。耕作者や県、警察、消防や学校関係など、町全体で協議ができるネットワークをどう作るかが非常に重要なポイントだと思う。なるべく早い機会に設置できるよう対応したい。



地元住民が協力して侵入防止柵を設置